



フィールド サービス ニュース

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区
西新宿1-7-2
(スバルビル)

NO. FAN-048

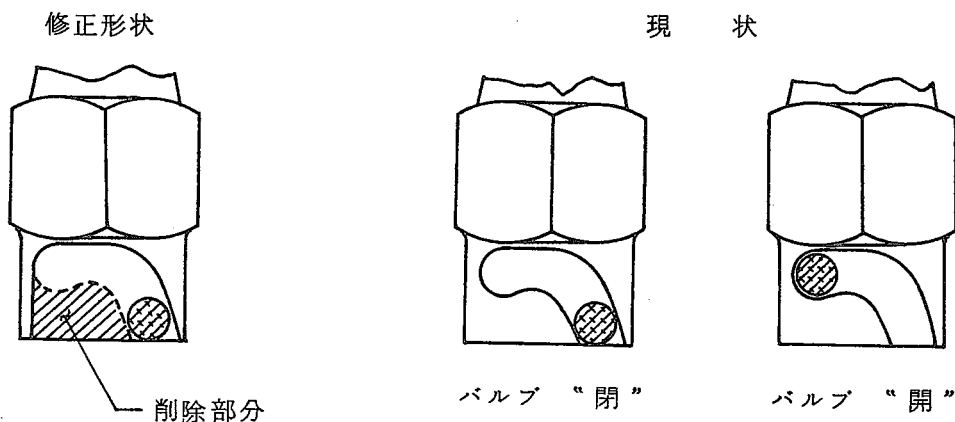
発行 51年6月5日

FA-200 燃料ドレンバルブについて

FA-200に使用されている燃料ドレンバルブP/N TS4850及びCCA4850は、“開”の状態に止めておくことのできるタイプですが、同種のドレンバルブを使用している他機において、ドレンバルブを“開”にしたまま出発して、離陸直後、エンジンが停止し、不時着に至った例があります。

飛行前点検において燃料セレクターを“OFF”にしたまま水抜きを行ったことにより、燃料セレクター下部及び燃料ストレーナ下部のドレンバルブからは燃料の流出が無く、そのためドレンバルブを閉じることを忘れて“開”位置のままエンジンを始動したことが、原因とされています。

このような不測の操作ミス为了避免するには、燃料ストレーナ下部及び燃料セレクター下部のドレンバルブを下図の如く改修し、“開”位置での保持を不可能とさせることが有効ですので、参考までにお知らせ致します。



FAN-048

PAGE 1 OF 1